



川崎市議会議員

青山圭一

連絡先 民主党川崎市議会議員団控室
210-8577 川崎区宮本町1
電話044-200-2111
青山圭一地元連絡先
電話044-935-3597/FAX044-935-3529

議会ニュース

春季4号

五反田川方水路事業

青山市議質問要旨

五反田川方水路事業について、これまでの取り組みと今後の取り組み、更に地元企業への優先発注、市民への周知について建設局長に伺う。

建設局長答弁要旨

本事業は、平瀬川水系全体の抜本的治水対策として、平瀬川と二ヶ領本川の負担を軽減する為に、五反田川の水を東生田小学校の上流部で分流し、地下トンネルにより直接多摩川へ放流する事業である。

平成4年度から事業に着手し、分流部の立抗については平成12年度に完成している。その後、多摩区登戸新町地域内の多摩川へ放流するトンネル部分において、一部の区部地上権取得が難航し、工事が中断していた。しかし、平成19年度に、神奈川県収用委員会への裁決申請、及び明渡し裁決の申し立て

てを行い、平成20年10月に、権利の取得が完了した。今後は、平成21年度から、トンネル到達部において、内径14メートル、深さ約60メートルの放流立抗の工事を4年間で行い、五反田川放流部の完成済立抗から放流立抗までの延長約2キロメートル、内径8.7メートルのシールド・トンネル工事を6年間で行う予定。また、その後、放流立抗から多摩川までの放流施設の築造や、分流部における管理施設などの工事を行うことを計画としている。全ての工事が完成するまでに約10年間を見込んでいる。

平成21年度発注の放流立抗工事、及びシールド・トンネル工事については、年度の早い時期に仮契約を行い、9月議会に議案を上程し、議会の承認の後、本契約となる予定。

次に、地元への工事の優先発注については、「WTO政府調達協定」の対象となる場合は、地元企業を優先出来ないが、地元企業の参加機会が得られる手法についても検討していく。

尚、市民への周知については、適宜地元の方々に説明を行い、安全に工事を進めていく。

五反田川放水路の必要性

五反田川下流の二ヶ領本川は、高度に都市化された地域を貫流しています。

特に、河道上空を主要地方道が専有している稻生跨線橋部や沿川に家屋が集中している区間については、河道拡幅

や掘削による河道改修が困難な状況となっています。

このようなことから、平瀬川水系全体計画では、水系全体の抜本的治水対策として、平瀬川と二ヶ領本川の計画高水流量の負担を軽減させるために、五反田川の洪水を直接多摩川に放流する五反田川放水路計画が立案されました。

五反田川放水路の概要

五反田川放水路は、洪水時には五反田川の洪水全量(150m³/s)を延長2,025mの地下トンネルに流入させ直接多摩川へ放流させようとするものです。

五反田川流域の概要

五反田川は、麻生区細山地内を源とし、細山調整池を経て小田急線に沿って蛇行しながら流下し、東生田地内でニヶ領本川に合流する流路延長4.8km・流域面積8.0km²の都市河川です。

本放水路は、五反田川と多摩川の水位差を利用して洪水を流下させる自然流下圧力管方式の地下河川です。

計画、設計にあたっては、五反田川放水路技術検討委員会において多くの学識経験者の指導を受けて行っております。

この川は、洪水時には、下流まで約20分で流下する高低差の著しい河川です。

このため、五反田川の下流部、及びニヶ領本川との合流部では、急激な水位上昇により、度重なる水害を繰り返してきました。

五反田川放水路整備事業における事業費

※印は、予定額

	平成19年度まで投資済事業費(うち用地費)	総事業費(うち用地費)
事業費	74.6億円(30.2億円)	※360.0億円(※31.2億円)
国庫補助金	22.95億円	※120.0億円
県補助金	22.95億円	※120.0億円
市負担金(起債含む)	28.7億円	※120.0億円

川崎市資料より

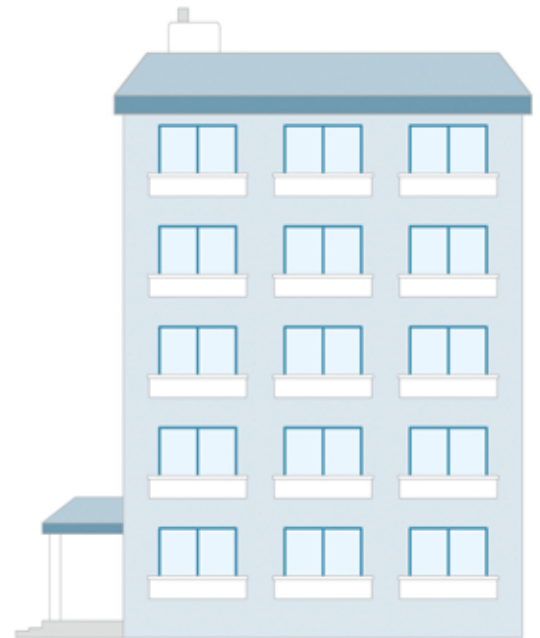


川崎市市営住宅耐震診断

総費用約300億円

2009年3月16日、川崎市は市営住宅の耐震診断の結果をまちづくり委員会に報告した。

報告によると、2008年度に耐震診断をした139棟のうち、震度6強の地震で倒壊する危険性が高いとされるものが27棟(Aランク)、倒壊する危険性があるものが105棟(Bランク)ある事が判明した。今後Aランクについては、2010年度までに、Bランクについては2015年度までに耐震補強を実施していく予定。その総費用は約300億円かかる見通しである。費用の約半分は国からの補助金を活用する。今後の取り組みを注視していく必要がある。



市政についてご意見、ご要望等お気軽にご連絡下さい



青山圭一連絡所: TEL 044-935-3597 FAX 044-935-3529
民主党川崎市議会議員団控室: 川崎市川崎区宮本町1 TEL 044-200-2111

1966年生まれ 川崎市立千代ヶ丘小学校卒業、柿生中学校卒業
神奈川県立生田高等学校卒業
中央大学法学部卒業 会計事務所勤務
平成 6年4月 元衆議院議員 松沢成文 公設第二秘書(現神奈川県知事)
平成11年4月 川崎市議会議員初当選 (第1位 9,293票)
平成15年4月 川崎市議会議員2期目当選 (第1位 10,010票)
平成19年4月 川崎市議会議員3期目当選 (第1位 10,073票)

現在 川崎市議会議会運営委員会委員長
川崎市議会健康福祉委員会委員
民主党神奈川県第9区総支部副会長
生田ライオンズクラブ会員
趣味 野球・水泳・少林寺拳法・将棋

民主党 川崎市議会議員 青山圭一ホームページ
<http://www.aoyama-k1.jp>